

# リアルタイム型授業で理解度を確認しつつ学生の集中力も持続させる工夫

科目名：基礎生化学

担当教員：角田佳充 教授（農学研究院）

形式：リアルタイム型

学年：基幹教育科目

人数：200人

ツール：Zoom

評価方法：オンライン試験（持ち込み可）、出席

## Q1. この授業で取り入れられた工夫について、改めて具体的に教えてください

毎回、授業の途中で、前回授業の後半部分+今回授業の前半部分について、リアルタイムに投票結果を見ることができる”Mentimeter”を使ったクイズを実施しました。飽きさせないための工夫として、また、このようなクイズが毎回あることで、集中して授業を聴くようになるのではと思います、取り入れました。そして、授業後には動画を編集してそれをアップし、また、学生のコメントそれぞれにコメントを返しました。

## Q2. 取り入れた結果、学生の反応はどうか

毎回取り入れていたクイズは、ゲーム性もあり、また、理解度の確認にもなるという点で、学生に評判が良かったように思います。

## Q3. 取り入れるために必要な準備

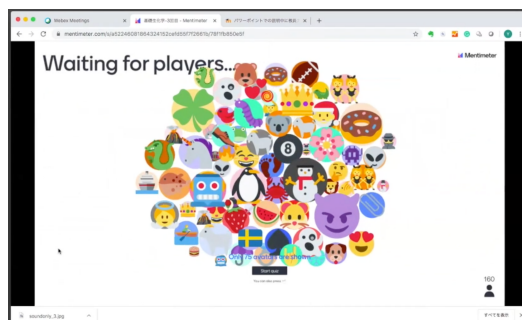
Mentimeter の用意としては、

- ・アカウントの作成
- ・問題の作成
- ・リハーサル

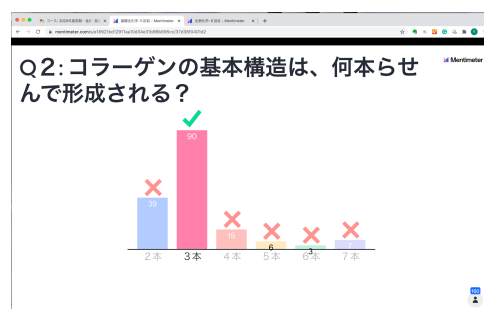
が必要になります。特に最初のうちは、うまく動作するのが心配かと思しますので、リハーサルを入念にすることが重要と考えます。

## ～インタビュアー雑感～

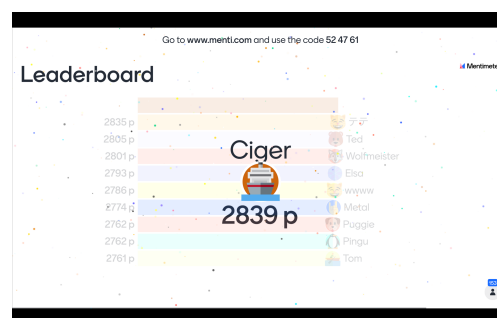
ただ正解するだけではなく、速さも得点の対象になるというゲーム性により、学生は復習にも取り組み、また、毎回の授業も重要なポイントを考えながら受講していたことが容易に想像できました。オンラインのライブ授業では、対面の時と異なり、他の学生がどれだけ理解しているのかがわかりにくいので、この工夫により自分の相対的な順位を知れるのは学習へのモチベーションを高める上でも良いと思いました。



学生が集まってくる様子



各選択肢を選んだ学生の数と正解



順位の表示